

## 令和5年度第2回役員会議事要旨

日 時 令和5年6月15日（木）16時35分から16時45分

場 所 【Zoomミーティングによるオンライン会議】

出席者 鎌土学長、和田理事・副学長、梅田理事・副学長、吉田理事

陪席者 日下部監事、野本監事、佐藤副学長・事務局長、武田副学長、高橋副学長、井原副学長、大塚附属図書館長

議事に先立ち、令和5年度第1回役員会議事要旨（案）について説明があり、案のとおり承認した。

### 審議事項

1. 令和4年度の計画に係る中期目標・中期計画等進捗状況に関する自己評価書について  
和田理事・副学長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。  
なお、軽微な修正については学長に一任することとした。
2. 国立大学経営改革促進事業におけるアライアンス法人の設立について  
和田理事・副学長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
3. 令和4年度決算について  
佐藤副学長・事務局長から、資料3-1～資料3-6に基づき説明があり、また、野本監事から資料3-7に基づき監査結果が報告され、審議の結果、これを承認した。
4. 令和5年度資金運用方針について  
佐藤副学長・事務局長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
5. 令和6年度概算要求について  
佐藤副学長・事務局長から、資料5-1～資料5-3に基づき説明があり、審議の結果、概算要求の方向性についてこれを承認した。
6. 就業規則等の一部改正について  
佐藤副学長・事務局長から、資料6-1～資料6-11に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

### 報告事項

1. 会計監査人の選任について  
佐藤副学長・事務局長から、報告1に基づき報告があった。
2. 令和4年度資金運用実績について  
佐藤副学長・事務局長から、報告2に基づき報告があった。

### 3. その他

#### 日下部監事

コロナ禍後、メール審議で開催されてきた教授会（教授、准教授、講師）が6月7日（水）に久々に対面で開催され、陪席した。当日は、コロナ禍の間に構成員になった多くの若手教員の紹介があったが、これらの若手教員の今後の活躍に大変期待している。

この教授会では、大学院修士課程の学内推薦入試の合否判定等が審議されたが、推薦にあたり、語学力の推薦基準が学部の各課程いずれも TOEIC400 点以上であった。スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）と関連し、学生の英語力強化については、監事監査等の場でも随時取り上げてきたところであり、先生方が学生の英語力強化に向けて十分努力していることは理解している。しかし、SGU の目標達成には、それだけでは足りず、学生の努力も必要となってくる。おそらく SGU の語学力の達成要件をクリアすることは難しいだろう。大学院の推薦基準の中に語学力を挙げているのであれば、その推薦基準を一気に上げることは難しいが、例えば、5年かけて 400 点から 500 点に段階的に上げていく等、学生のモチベーションの向上に向けて再度検討をお願いしたい。

また、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行により、対面での活動、業務が増えてきていると思うので、学生、教職員の安全、健康には十分配慮して欲しい。

#### 鎌土学長

学生の英語力強化については、徐々に成果を上げている系もあると認識している。来年度の SGU の後継事業があれば、応募に向けて検討しなければならないと考えている。

新型コロナウイルス感染症については、5 類感染症移行後も、これまで同様に学生、教職員の発生状況を執行部も把握し、状況に応じて必要な対策を講ずることができる体制を整えている。

#### 野本監事

会計期末監査において、大学の預金口座の状況を確認した。前期の監査では、単発のイベント、会議等で作成した口座が、その後、使われないまま残っていたが、今期はそういった口座を大学で自主的に解約していた。このような休眠口座は不正の温床にも繋がりがやすいもので、大変良かったと考えている。

また、6月13日（火）に会計監査人の監査結果報告会に出席した。本学の会計監査人は国立大学法人に関する監査経験が豊富であり、指摘も的確なため、本学にとって適任であると考えている。

以 上